

氏名 高崎洋介
授与した学位 博士
専攻分野の名称 医学
学位授与番号 博甲第 3707号
学位授与の日付 平成20年6月30日
学位授与の要件 医歯学総合研究科社会環境生命科学専攻
(学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目 Heart Disease, Other Circulatory Diseases, and Onset of Major Depression among Community Residents in Japan:
Results of the World Mental Health Survey Japan 2002-2004
(わが国の一般住民における、心疾患及びその他の循環器系疾患と大うつ病性障害の発症
- World Mental Health Survey Japan (2002-2004) の結果より-)

論文審査委員 教授 黒田重利 教授 荻野景規 准教授 草野研吾

学位論文内容の要旨

目的:我々は、循環器系疾患(心臓病・心臓発作・脳卒中・糖尿病・高血圧)が、日本の一般住民において大うつ病性障害を増加させるか調査した。

方法:2002年から2004年に、全国の7つの自治体にて合計2,436人の対面訪問調査を行い、構造化精神医学面接にてDSM-IVに基づいた大うつ病性障害の診断を行い、身体疾患の存在についても調査した。大うつ病性障害の発症のリスクを求めるために、身体疾患の併存状態を時間依存性共変量とし、Coxの比例ハザードモデルにて解析した。

結果:心臓発作は、大うつ病性障害の発症と強い関連が見られた(ハザード比=7.51 95%信頼区間:1.36-41.45)。心臓病、糖尿病では、統計学的有意ではないが関連が見られた。高血圧では、関連は見られなかった。本研究では大うつ病性障害の前に、脳卒中を発症したケースはなかった。

結論:臨床医が、心臓病や糖尿病、特に心臓発作を有する患者を継続加療する場合は、うつ病の発症に注意を払う必要があるだろう。

論文審査結果の要旨

うつ病は世界的にも日本でもよく見る疾患である。本研究は、循環器系疾患が日本の一般住民においてうつ病を増加させるか否かを研究したものである。解析対象は821人で構造化面接にてDSM-IVに基づき、うつ病の診断をした。その結果、心臓発作はうつ病性障害の発症と強い関連が見られた(ハザード比=7.51 95%信頼区間:1.36-41.45)。心臓病と糖尿病は統計学的に有意ではないが関連がみられた。また、本研究ではうつ病の前に脳血管障害が発症した例はなかった。この結果は、医師が心臓病や糖尿病とくに心臓発作を有する患者を診療するときは、うつ病の発症に注意を払う必要があるという、重要な知見を得ており価値ある業績である。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。